

私の留学体験記

広島県立大崎海星高等学校 2年 梶村 説都 (かじむら ぜっと)

留学期間 令和元年8月31日 ~ 令和元年9月12日 (13日間)

留学先 ウェリントン高校 (ウェリントン, ニュージーランド)

僕たちは、ウェリントン・ハイスクールへ短期留学に行きました。出発するときは、港や空港にたくさんの保護者や先生方が見送りに来てくださり、海星高校の代表として頑張っていないといけないなと思いました。往路は乗り換えもあり、15時間程かかったため疲れしました。ですが、普段の生活では味わえないワクワク感があり楽しかったです。アナウンスも何もかも英語だったので困ったりしたけど、聞き取ることもできたので勉強になりました。ウェリントン国際空港に着き、無事に税関を通ることができてホッとしました。

空港に迎えに来てくれたホストファミリーに挨拶をして、会話をしながら車まで向かいましたが、普段聞いている英語とは全く違い、とても早くて聞き取ることが難しかったです。そんな状態が続いてしまい、今度どうなるのか不安しかありませんでしたが、「車の窓を開けてもいいですか」と聞くとうまく通じたので、とても嬉しかったです。家に着くと部屋など紹介してくれました。海外の映画などで観る家の造りだったので、やっぱり日本とはだいぶ違うなと思いました。夕食は、ローストビーフや手作りのデザートまで準備して下さり嬉しかったです。お土産で、扇子や島の手ぬぐい、マスキングテープなどを渡すと、權伝馬や柑橘の絵を見て楽しそうにしていました。

初めて学校に行く日には、どうやって行くのか何時に行くのかも分からず、単語を並べただけの英語で聞いたら、分かりやすく教えて下さり助かりました。学校では歓迎会をして下さり、一気に距離が縮まりました。授業は、日本からの他校の留学生や海星高校の生徒と一緒にだったので、英語だけではなかったけど、ウェリントン・ハイスクールの生徒と話す時は英語だったので、勉強になりました。

ホームステイ先の生徒と同じ授業を受ける時は英語しか使ってなかったのですが、先生とコミュニケーションを取るのが難しかったり、何をやったらいいのかわからなかったりしたけど、周りの生徒がジェスチャーなどで教えてくれたので、しっかり授業を受けることができました。

3日目には中学校へ行きました。中学生に日本について話したりすると、自分が思った以上に知っていたのでびっくりしました。折鶴を折る時は、どうやったらいいかわからなかったけど、最後には上手く折ることができてとても喜んでくれたので、嬉しくなりました。

5日目には、伝統的なクッキーを作ったり、国立博物館へ行ったりしました。国立博物館では、ニュージーランドの地形や、昔からいる鳥や兎について知ることが出来ました。また、絵などのアート作品もあり、感動しました。

7日目は休日だったので、親戚の牧場に羊を見に連れて行ってもらったり、お土産を買いに行ったりしました。牧場には人生で初めて見る羊や牛がいっぱいいました。羊は、真っ白だと思っていたけど茶色っぽい感じで、想像以上に大きくて驚きました。また、骨と皮だけの羊がいて、とても可哀想だなと思いました。

9日目は、みんなで買い物や植物園に行くために街へ行きました。最初、お金の使い方が分からなかったけど、回数を重ねると分かるようになりました。植物園には、オーストラリアの植物もありました。日本とは違い、固くトゲトゲしているものが多かったです。

10日目は最終日で、朝、家でホストファミリーと別れの挨拶をして本当に悲しくなりました。

今回、ウェリントンに行ったことで、英語の大切さを学ぶことができたし、日頃からどのような勉強をしたらいいのかなどを知ることができたので、これからしっかり勉強をしようと思います。初日はほとんど話せなかった英語も、日に日に話せるようになり、楽しくなってきました。でも、ニュージーランドの生徒が楽しそうに話していることが分からないこともあるので、それが理解できるようになると、もっと楽しいのかなと思いました。留学に行って、様々なことを学べて、本当に良かったです。